



事業計画

2019年度

社会福祉法人希耀會

目 次

理事長挨拶	3
私たちの理念	4
法人機構図	5

特別養護老人ホーム花乃路

会議・委員会活動	6
年間業務予定	7
年間業務目標（部門別）	8
年間業務目標（ユニット別）	9

特別養護老人ホームあやめ苑

委員会活動	10
年間業務予定	11
年間業務目標（部門別）	12
年間業務目標（ユニット別）	13

ベイサイドわかまつ

委員会活動	14
年間業務予定	15
年間業務目標（部門別）	16
年間業務目標（事業所別）	17

花乃路保育園

中・長期計画	18
課題	19
平成30年度にむけて行動指針と具体的内容	20
取組内容	21
年間業務予定	22



理事長挨拶

このたび、社会福祉法人希耀會は特別養護老人ホーム花乃路を開設して10周年を迎えることができました。
これもひとえに地域を始め関係者の皆様のご支援・ご理解のおかげと、深く感謝いたします。

当法人は、平成18年10月に地域や福祉・医療関係者の皆様の全面的なご支援を得て、法人の設立認可を受け、事業を開始いたしました。北九州市の中でも高齢化が著しく進む若松区における高齢者福祉の拠点として、高齢になり心身が低下しても安心して住み慣れた地域社会で生活が送れるように、また、「若松区をハッピーリタイアメントゾーンに」という前理事長の志を基として高齢者介護、保育事業を展開し、今日まで職員一同、地域に開かれた運営を行いつつ、利用者の皆様お一人おひとりに満足のいただける質の高いサービスの提供に努めてまいりました。

近年において、福祉業界を取り巻く人材不足は大変厳しい状況であることは、新聞紙面やマスコミ報道等でも取り上げられており皆さまもご周知のことと思います。当法人も例外なく、大きな課題であると捉えており1事業所の問題でなく、法人全体の課題として具体的なアクションを講じて参りたいと考えております。

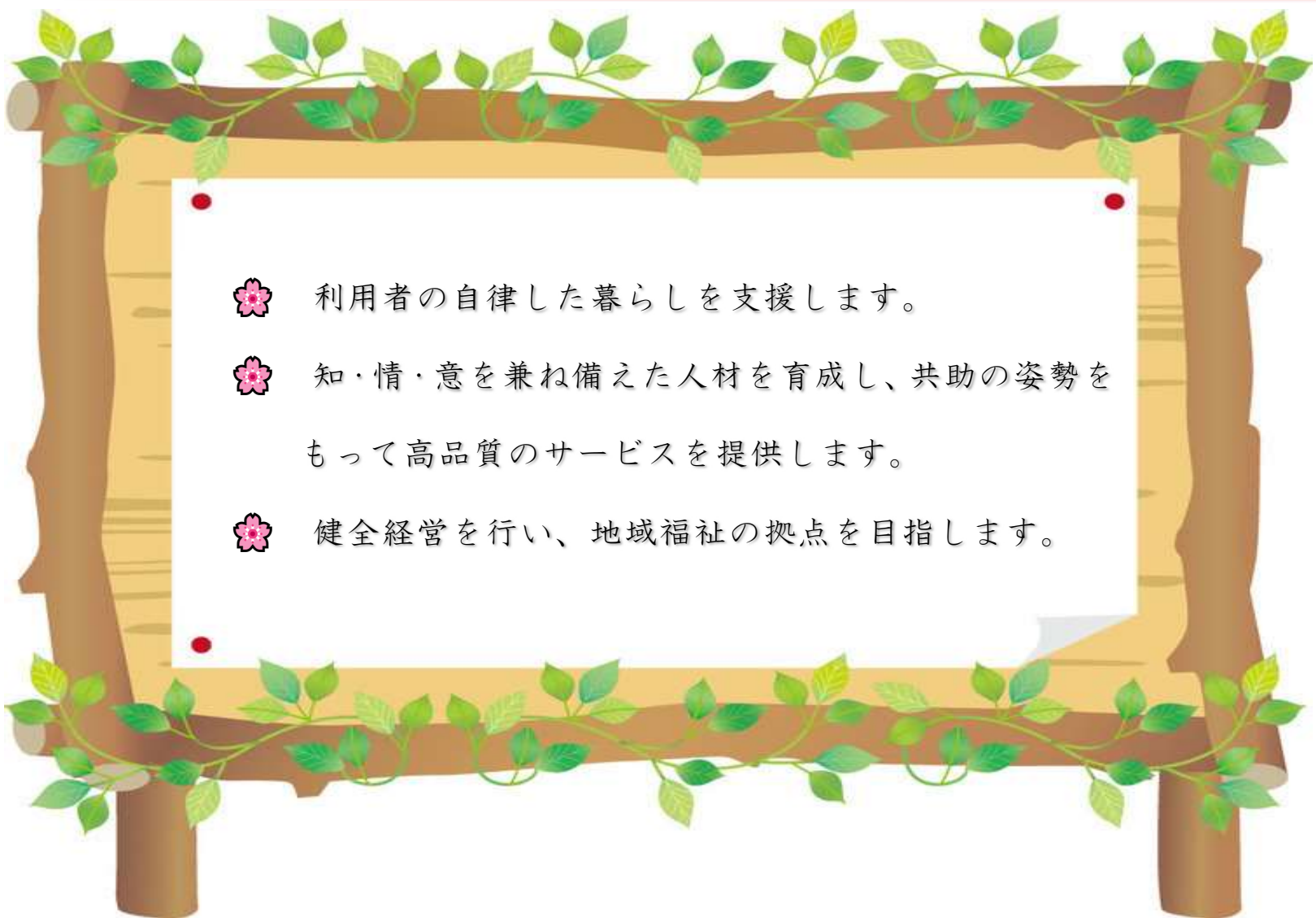
また、福祉の仕事を魅力あるものとして発信し、福祉の仕事に対するイメージを、「きけん、きつい、きたない」という所謂3Kと言われるものから「感動、感謝、感激」の3Kへと変えていけるように、将来的に介護の仕事に就きたい、保育の仕事がしたい、と言う若い世代が増えるような啓発活動を続けてまいります。

これからも、創立当初の福祉の原点を見据えながら地域の皆様に信頼され安全で安心して生活していただける施設運営を目指すとともに、安定した法人経営に一層努める所存でありますので、今後ともご理解ご支援を賜ります様お願い申し上げます。

社会福祉法人希耀會

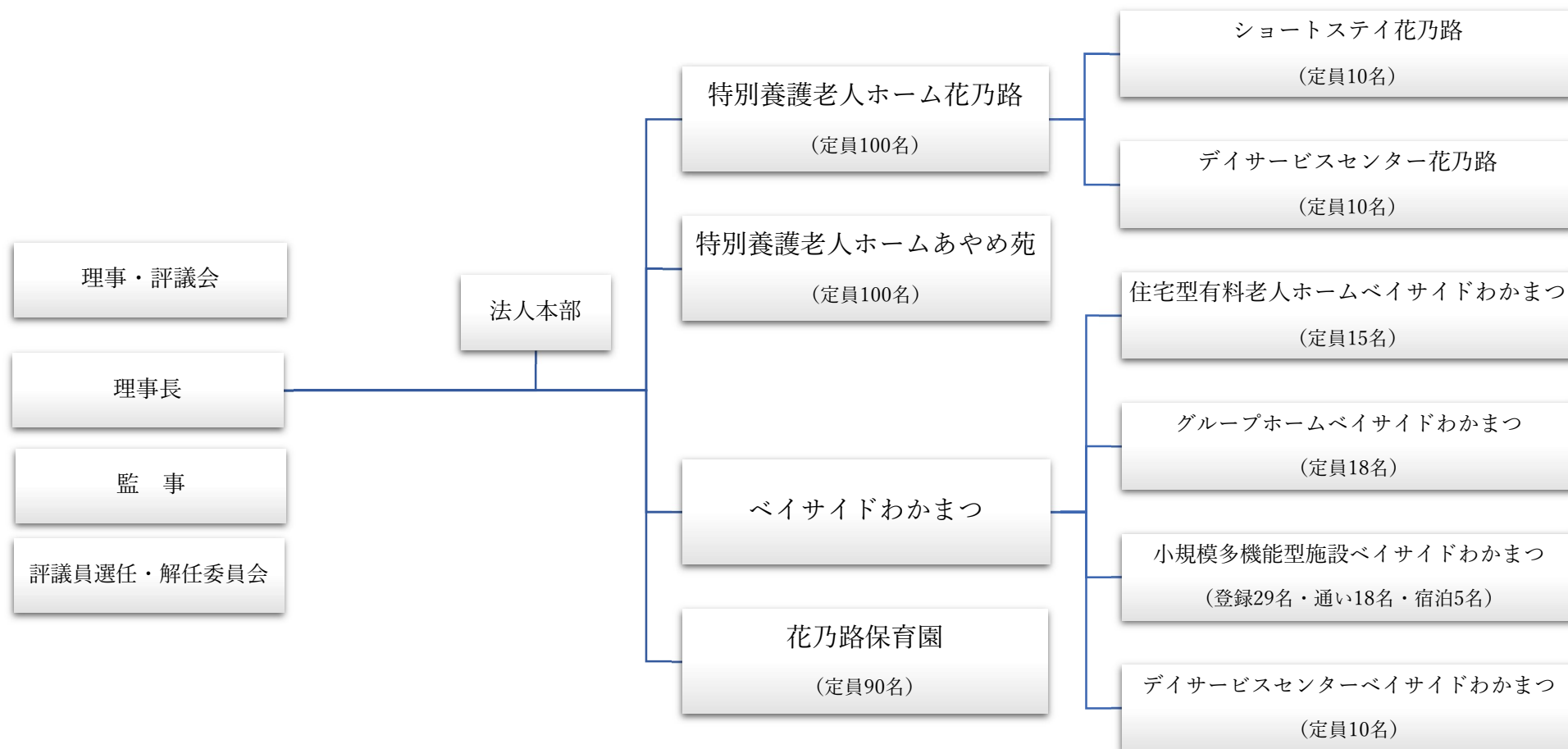
理事長 **大島 圭子**

私たちの理念

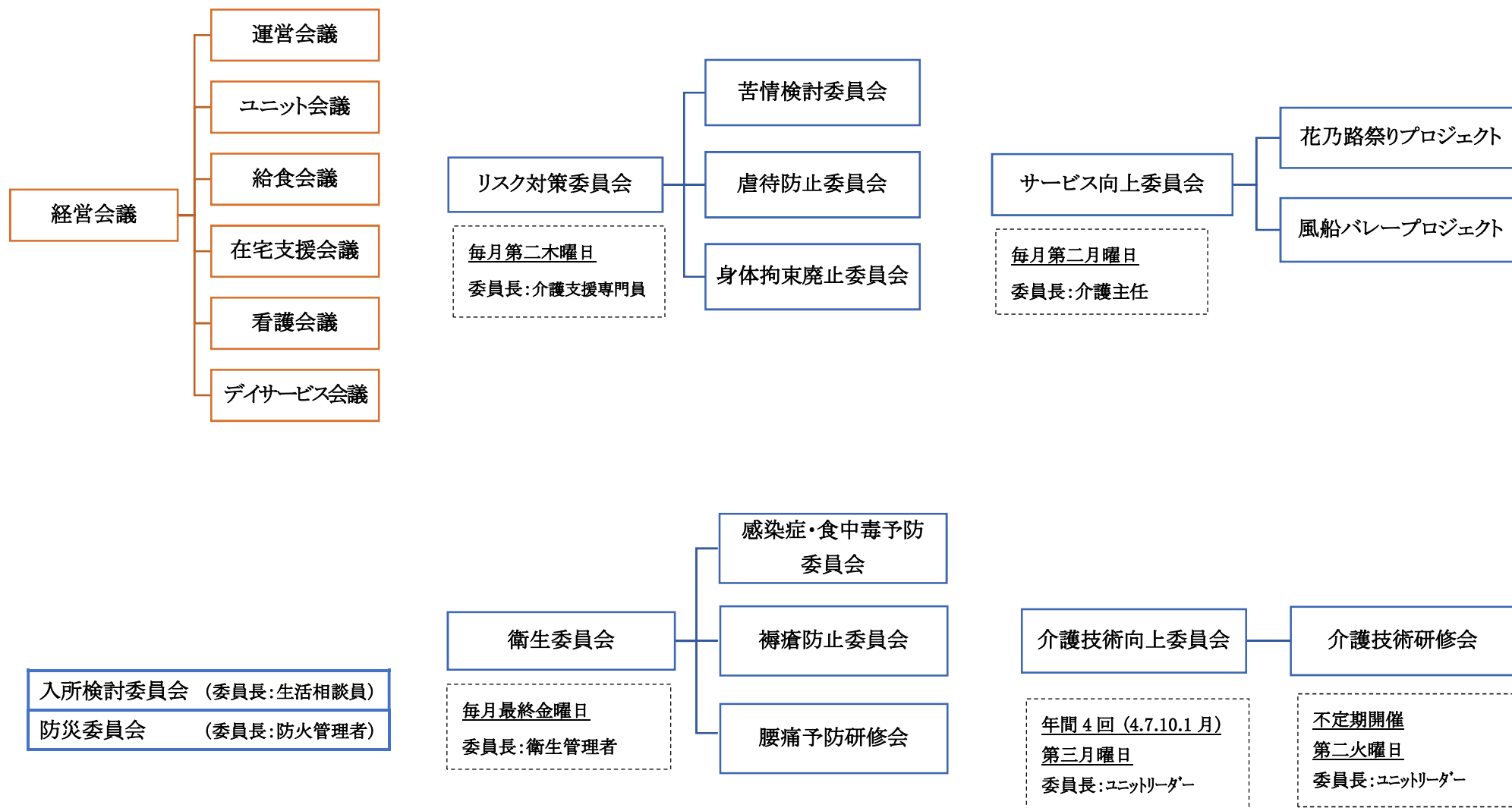
- 
- ✿ 利用者の自律した暮らしを支援します。
 - ✿ 知・情・意を兼ね備えた人材を育成し、共助の姿勢をもって高品質のサービスを提供します。
 - ✿ 健全経営を行い、地域福祉の拠点を目指します。

法人機構図

平成 31 年 3 月 1 日現在



特別養護老人ホーム花乃路 (会議・委員会活動)



特別養護老人ホーム花乃路 (年間業務計画)

2019年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	月 入職式	1 水	1 土 評議員会	1 月 戸畑高等技術 専門校実習	1 木 運営会議	1 日	1 火 褥瘡防止委員会	1 金 体操クラブ	1 日	1 水	1 土	1 日
2	火 褥瘡防止委員会	2 木 運営会議	2 日	2 火 褥瘡防止委員会	2 金 体操クラブ	2 月	2 水	2 土	2 月 戸畑高等技術 専門校実習	2 木	2 日	2 月
3	水	3 金 体操クラブ	3 月	3 水	3 土	3 火 褥瘡防止委員会	3 木 運営会議	3 日	3 火 褥瘡防止委員会	3 金	3 月	3 火 褥瘡防止委員会
4	木 運営会議	4 土	4 火 褥瘡防止委員会	4 木 運営会議	4 日	4 水	4 金 体操クラブ	4 月	4 水	4 土	4 火	4 水
5	金 体操クラブ	5 日	5 水	5 金 体操クラブ	5 月	5 木 運営会議	5 土	5 火 感染・食中毒 予防委員会	5 木 運営会議	5 日	5 水 感染・食中毒 予防委員会	5 木 運営会議
6	土	6 月	6 木 運営会議 防災訓練	6 土	6 火 感染・食中毒 予防委員会	6 金 体操クラブ	6 日	6 水	6 金 体操クラブ	6 月	6 木 運営会議	6 金 体操クラブ 苦情検討委員会
7	日	7 火 感染・食中毒 予防委員会	7 金 体操クラブ	7 日	7 水	7 土	7 月 サービス向上委員会	7 木 運営会議 夜間防災訓練	7 土	7 火 褥瘡防止委員会	7 金 体操クラブ	7 土
8	月 サービス向上委員会	8 水	8 土	8 月 戸畑高等技術実習 サービス向上委員会	8 木 リスク対策委員会	8 日	8 火	8 金 習字クラブ	8 日	8 水	8 土	8 日
9	火	9 木 リスク対策委員会	9 日	9 火	9 金 習字クラブ	9 月 サービス向上委員会	9 水	9 土	9 月 戸畑高等技術実習 サービス向上委員会	9 木 運営会議	9 日	9 月 サービス向上委員会
10	水	10 金 習字クラブ	10 月 サービス向上委員会	10 水	10 土	10 火	10 木 リスク対策・身体 拘束廃止委員会	10 日	10 火	10 金 習字クラブ	10 月 サービス向上委員会	10 火
11	木 リスク対策・身体 拘束廃止委員会	11 土	11 火	11 木 リスク対策・身体 拘束廃止委員会	11 日	11 水	11 金 習字クラブ	11 月	11 水	11 土	11 火	11 水
12	金 習字クラブ	12 日	12 水	12 金 習字クラブ	12 月 サービス向上委員会	12 木 リスク対策委員会	12 土	12 火 サービス向上委員会	12 木 リスク対策委員会	12 日	12 水	12 木 リスク対策委員会
13	土	13 月 サービス向上委員会	13 木 リスク対策委員会	13 土	13 火	13 金 習字クラブ 苦情検討委員会	13 日 花乃路祭り	13 水	13 金 習字クラブ	13 月 サービス向上委員会	13 木 リスク対策委員会	13 金 習字クラブ
14	日	14 火 給食会議	14 金 習字クラブ	14 日	14 水	14 土	14 月 介護技術向上 委員会	14 木 リスク対策委員会	14 土	14 火 給食会議	14 金 習字クラブ	14 土
15	月 介護技術向上 委員会	15 水 常務会	15 土	15 月 介護技術向上 委員会	15 木	15 日	15 火 給食会議	15 金 お楽ク・DS会議 入所検討委員会	15 日	15 水 戸畑高等DS実習 常務会	15 土	15 日
16	火 給食会議	16 木 入所検討委員会	16 日	16 火 給食会議	16 金 お楽しみクラブ DS会議	16 月	16 水 常務会	16 土	16 月	16 木 リスク対策・身体 拘束廃止委員会	16 日	16 月
17	水 常務会	17 金 お楽ク・DS会議 理事会	17 月	17 水 常務会	17 土	17 火 給食会議	17 木	17 日	17 火 給食会議	17 金 獅子舞訪問 DS会議	17 月	17 火 給食会議
18	木	18 土	18 火 給食会議	18 木	18 日	18 水 常務会	18 金 お楽しみクラブ DS会議	18 月	18 水 常務会	18 土	18 火 給食会議	18 水 常務会
19	金 お楽しみクラブ DS会議	19 日	19 水 常務会	19 金 お楽しみクラブ DS会議	19 月	19 木	19 土	19 火 給食会議	19 木	19 日	19 水 常務会	19 木
20	土	20 月 小池特別支援 学校実習	20 木	20 土	20 火 給食会議	20 金 お楽しみクラブ DS会議	20 日	20 水 常務会	20 金 お楽しみクラブ DS会議	20 月 介護技術向上 委員会	20 木	20 金 お楽しみクラブ DS会議
21	日	21 火	21 金 お楽しみクラブ DS会議	21 日	21 水 常務会	21 土	21 月	21 木	21 土	21 火	21 金 お楽しみクラブ DS会議	21 土 理事会
22	月 救急蘇生研修	22 水	22 土	22 月	22 木	22 日	22 火	22 金 音楽クラブ	22 日	22 水	22 土	22 日
23	火	23 木	23 日	23 火 戸畑高等技術 専門校DS実習	23 金 音楽クラブ	23 月	23 水	23 土	23 月 食中毒感染症研修	23 木	23 日	23 月 認知症研修
24	水 看護会議 在宅支援会議	24 金 音楽クラブ	24 月 食中毒感染症研修	24 水 看護会議 在宅支援会議	24 土	24 火	24 木	24 日	24 火	24 金 音楽クラブ	24 月	24 火
25	木	25 土	25 火	25 木	25 日	25 水 看護会議 在宅支援会議	25 金 音楽クラブ 経営会議・衛生	25 月	25 水 看護会議 在宅支援会議	25 土	25 火	25 水 看護会議 在宅支援会議
26	金 音楽クラブ 経営会議・衛生	26 日 風船バレー大会	26 水 看護会議 在宅支援会議	26 金 音楽クラブ 経営会議・衛生	26 月 身体拘束虐待 予防研修	26 木	26 土	26 火	26 木 大掃除	26 日	26 水 看護会議 在宅支援会議	26 木
27	土	27 月 小池特別支援 学校実習	27 木	27 土	27 火	27 金 音楽クラブ 経営会議・衛生	27 日	27 水 看護会議 在宅支援会議	27 金 音楽クラブ 経営会議・衛生	27 月 リスクマネジメント研修	27 木 身体拘束虐待 予防研修	27 金 音楽クラブ 経営会議・衛生
28	日	28 火	28 金 音楽クラブ 経営会議・衛生	28 日	28 水 看護会議 在宅支援会議	28 土	28 月 褥瘡予防研修	28 木	28 土	28 火	28 金	28 土 評議員会
29	月	29 水 看護会議 在宅支援会議	29 土	29 月 リスクマネジメント研修	29 木	29 日	29 火	29 金 経営会議 衛生委員会	29 日	29 水 看護会議 在宅支援会議	29 土	29 日
30	火	30 木	30 日	30 火	30 金 経営会議 衛生委員会	30 月 人権研修	30 水 看護会議 在宅支援会議	30 土	30 月	30 木		30 月
		31 金 経営会議 衛生委員会		31 水	31 土		31 木		31 火	31 金 経営会議 衛生委員会		31 火
	簡易水道検査 新人研修	厨房害虫駆除 厨房機器点検 ワックス掛け		消防機器点検	合同法要	グリーストラップ清掃	貯水池検査	厨房害虫駆除 厨房機器点検		受水槽清掃	消防機器点検	職員健康診断 グリーストラップ清掃 貯水池検査

※ 栄養ケアマネジメント・ケアプランカンファレンス → 毎月随時開催
 ※ 電気保守点検・EV点検 → 毎月随時実施

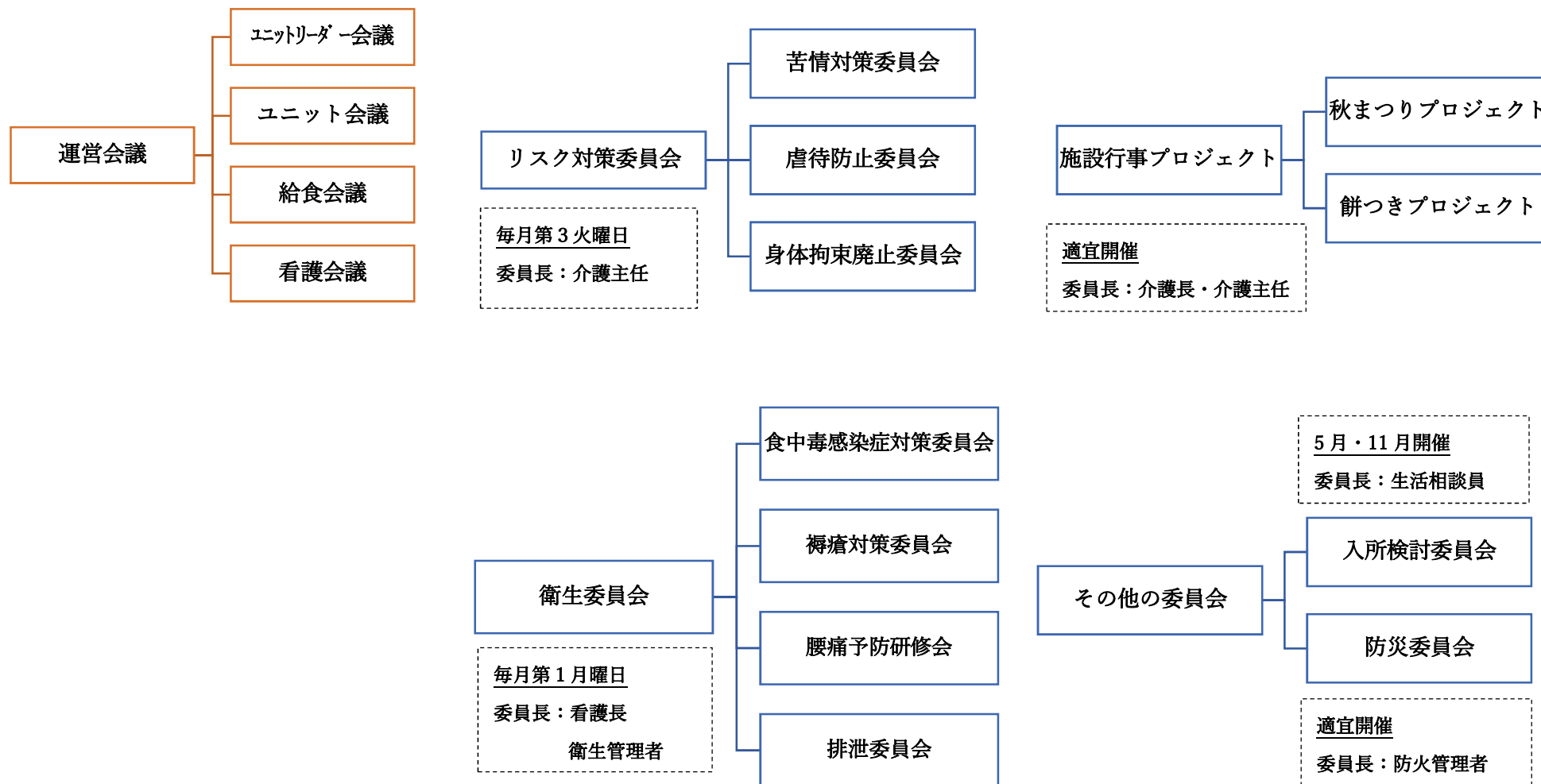
特別養護老人ホーム花乃路 年間業務目標（部門別）～理念の実現に向けて～

私たちの理念	利用者の自律した暮らしを支援します	知・情・意を兼ね備えた人材を育成し、共助の姿勢をもって高品質のサービスを提供します	健全経営を行い地域福祉の拠点を目指します
業務指針	・利用者＝顧客であるという認識の向上 ①接遇面などの現状を客観的に分析・評価する機能を確立し、利用者への顧客意識の重要性を再認識しながら、提供サービスの質的向上に努めます。 ・自律した暮らしの支援 ①利用者の心身の状態変化や行動特性などを職員間で密に共有した上で、柔軟で適切な生活援助を展開し、利用者個々人にとっての「自律した暮らし」が実現できるように努めます。	・人材育成（知・情・意） ①職種及び職員間の協力体制の更なる向上を目指すと共に、研修体系の工夫や資格取得支援制度の確立等、職員個々のスキルアップ体制の整備に努めます。 ・高品質のサービス ①介護技術向上委員会の活動内容を、各職員に対して効果的にフィードバックしながら、基本的な介護技術のレベルアップを図り、日常生活内における介護事故要因の軽減に努めます。	・健全経営 ①地域の各機関への宣伝等、積極的な営業活動を行い、顧客の新規獲得に努め、稼働率の向上を目指します。 ②施設・事業所全体でより一層の経費節減に努めます。 ・地域福祉 ①低所得者の方からの相談等に対し最善の対応に努め、地域福祉の充実に寄与できる活動を推進します。 ②乙丸・花野路両自治会との連携を促進し、相談機能の充実など相互協力体制の向上に取り組みます。
介護部門	入居者の立場になり、生活習慣や好みを尊重し自律した暮らしが維持できるように支援します。	高い知識と深い愛情を持ち、思いを集めて人材を育成します。また、他職種と連携を図り入居者の健康と安全・安心を提供し、サービスの向上に努めます。	施設全体のコスト管理を行い、施設運営が健全に行えるように努めます。施設行事は地域の方々にお知らせし、地域の方に安心して頂けるような福祉の拠点を目指します。
看護部門	入居者の高齢化に伴い、安心・安楽な暮らしが出来るように嘱託医や他職種との連携を密に図り、ご家族の協力も得ながら医療的側面からの生活支援の充実を目指します。	介護職に必要な医療的知識や物品などの取り扱いにおける内部研修を行い、インフルエンザや感染症かつ緊急時等に的確かつ迅速に対応できるようにスタッフの育成を行います。	入居者の重症化や入院の長期化などへの課題意識を持ち、疾患の早期発見・早期対応に努め、重症化を予防します。また、協力病院、医療機関との連携を図り、円滑な関係を築きます
相談部門	利用者個々の尊厳の確保を第一に考え、それぞれの要介護の状態を理解・把握しながら多職種と連携し、自律した暮らしの実現に向けたサービスを提供致します。	各種知識や技術の研鑽に励み、専門性の向上を目指すとともに、多職種との情報共有を迅速かつ正確に行い協力体制を整えることにより、入居者・利用者・ご家族に対して質の高いサービスが提供できるように取り組んで参ります。	特養・在宅部門共に地域に対する相談窓口としての機能向上に努め、医療機関等、各種社会資源との連携を密にし、新規利用者の獲得および稼働率の向上に努めます。また、地域でのニーズを把握し、住み慣れた場所で安心して生活できる環境の構築に尽力致します。
栄養部門	各個人の疾患や栄養状態に合わせた食事の提供を行い、より良い食環境の中で生活できるようサポートします。	研修等に参加し専門的知識を深め、内部研修や会議を通して他職員と情報を共有します。また、多職種で連携し栄養ケアマネジメントの充実を図ります。	栄養ケアマネジメント加算、療養食加算に伴う業務を的確に行います。行事等、家族や地域の方との交流の場を大切にします。
事務部門	入居者やご家族からの要望に対して、柔軟に対応します。	介護保険法改正に的確に対応できるよう、事務能力の向上を目指します。資格等を取得しスキルアップを目指します。	介護保険法改正や新設される加算について積極的に検討し、算定出来るよう安定した収入確保を目指します。
ショートステイ（やまぶき）	利用者の想いをくみ取り、出来るだけその想いに近づけるように努力します。	日々変わる利用者の体調や心の変化に配慮し、情報交換を密にして、統一したケアを目指します。	今期も電気・冷暖房が適切に使用されているか、スタッフ全員で声を掛け合い節約に努めます。
デイサービス	一人一人の利用者が望む「在宅生活」を考え、より個々にあったプログラム活動やご家族へのサポートを含めたサービス提供に取り組めます。	会議や研修等による情報共有・連携強化を図り、チーム体制としてのサービス提供をより意識して取り組みます。	各居宅介護支援事業所等へのPR活動の強化を図り、利用者のニーズに答えながら信頼関係を築き、稼働率の向上に取り組めます。

特別養護老人ホーム花乃路 年間業務目標（ユニット別）～理念の実現に向けて～

私たちの理念	利用者の自律した暮らしを支援します	知・情・意を兼ね備えた人材を育成し、共助の姿勢をもって高品質のサービスを提供します	健全経営を行い地域福祉の拠点を目指します
牡丹通り	入居者の異常を早期に発見できる環境づくりに努め、個々が安心、安全に自律した生活が出来るよう支援します。	職員全員が進んで研修などに参加し、技術の向上と介護の統一を図り、連携し向上心を持って取り組んでいきます。	居室及びリビングのエアコンや照明、TV等を細目にチェックし節電に努めます。また、ご家族との交流を深め、安心して頂けるように努めます。
百合通り	入居者に寄り添ったケアを行い、安心した生活が送れるように 24 時間シートに沿ったケアの提供に努めます、体調変化に気を付け健康に過ごして頂けるように支援します。	職員間での情報を共有し、連絡を密に行いユニットケアの統一に努める。研修等へ積極的に参加します。	入居者に合ったオムツを使用し、コスト管理に気を付けます。ご家族に入居者様の日常の様子をお伝えし交流が取れるようにし安心して頂けるように努めます。
向日葵通り	入居者が、楽しく安心して生活が送れる様に支援します。	職員間で意見や情報交換を常に図り、高品質なサービスを提供します。	職員一人ひとりがご家族とのコミュニケーションを大事にし、信頼関係を構築します。
桔梗通り	入居者一人ひとりの状態を把握し、安心して安全に過ごせるよう支援します。	ユニット内で情報共有し、スタッフ間の連携を心掛け、より良いケアを提供できるよう努めます	職員一人ひとりが節電意識を持つよう努めます。ご家族とのコミュニケーションをしっかりと取り信頼関係を築ける様努めます。
朝顔の丘	入居者が安心・安全に暮らせるように努めます。	職員間で情報共有を行い、介護技術の向上とより良いサービスの提供を目指します。	入居者の方々とご家族との交流を大切にし、信頼関係を築きます。
秋桜の丘	入居者とのコミュニケーションを図り、それぞれの生活観や価値観が把握できるように努めます。	報告・連絡・相談（ほう・れん・そう）で職員間の情報を共有し、より良いケアを提供して行きます。	ご家族との会話を大切にして、信頼関係を築きます。備品を大切に扱います。
紫陽花の丘	入居者の心身機能の維持を図りながら、個別支援し、入居者が暮らしやすい環境を作っていきます。	観察力を養いながら介護技術の向上を目指し、統一した介護を目指します。	職員一人ひとりが無駄の無いように心掛けます。また、ご家族とのコミュニケーションを行い安心して預けて頂けるケアを目指します。
水仙の丘	入居者に安心・安全な生活を送って頂けるように個々の状態把握をしっかりと行い、異常の早期発見に努めます。入居者にとって、無理のない支援を行っていきます。	日誌・申し送りノート・口頭での連絡がきちんと伝わる様にし、職員に一人ひとりがきちんと確認する、職員間での情報交換がしっかりと出来るようにして行きます。他職種からの連絡事項などの把握や職員全員への周知徹底をして行きます。	状態に応じたケアアイテムの工夫をする事でコスト削減に努めます。電気・エアコン等使用していない時は、細目に消すように致します。ご家族との交流を図り、信頼関係を築いていきます。
さくら広場	入居者一人ひとりのADLをしっかりと把握し、その方に合ったサービスが提供できるよう努めます。	積極的な内外研修への参加を引き続き行い、全ての職種における職員同士の関係を良好に築く事で連携を上手に取り、また各々が支え合う事でスタッフ一人ひとりの介護負担の軽減に取り組みます。	オムツのコスト管理を徹底し、入居者一人ひとりに合った最適なアイテムを提供します。また、ユニット行事を積極的に企画する事により、ご家族が今まで以上に足を運びやすい環境を作ります。
ふじ広場	入居者一人ひとりの日々の生活の変化に気づき、介護方法等ケアを見直しながら安心して生活できるように支援します。	ユニットリーダーを中心に、職員間で情報交換や連携を密にし、介護技術の向上を図りながらスキルアップに努めます。	ご家族との交流を大切にして信頼関係を築いていきます。節電などコストダウンに努めます。

特別養護老人ホームあやめ苑 (会議・委員会活動)



特別養護老人ホームあやめ苑 (年間業務計画)

4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月				
1	月	新卒教育期間	1	水		1	土	決算評議会	1	月	運営会議 衛生委員会	1	木		1	日		1	火	セブイレブン	1	金	書道クラブ	1	日		1	水		1	土		1	日			
2	火	セブイレブン	2	木		2	日		2	火	セブイレブン	2	金	書道クラブ	2	月	運営会議 衛生委員会	2	水	身体拘束廃止委 員会	2	土		2	月	運営会議 衛生委員会	2	木		2	日		2	月	運営会議 衛生委員会		
3	水	身体拘束廃止委 員会	3	金	書道クラブ	3	月	運営会議 衛生委員会	3	水	身体拘束廃止委 員会	3	土		3	火	セブイレブン	3	木		3	日		3	火	セブイレブン	3	金	書道クラブ	3	月	運営会議 衛生委員会	3	火	セブイレブン		
4	木		4	土		4	火	セブイレブン	4	木		4	日		4	水		4	金	書道クラブ	4	月	運営会議 衛生委員会	4	水		4	土		4	火	セブイレブン	4	水	身体拘束廃止委 員会		
5	金	書道クラブ	5	日		5	水		5	金	書道クラブ	5	月	運営会議 衛生委員会	5	木		5	土		5	火	セブイレブン	5	木		5	日		5	水	身体拘束廃止委 員会	5	木			
6	土		6	月	運営会議 衛生委員会	6	木		6	土		6	火	セブイレブン	6	金	書道クラブ	6	日		6	水		6	金	書道クラブ	6	月	運営会議 衛生委員会	6	木		6	金	書道クラブ		
7	日		7	火	セブイレブン	7	金	書道クラブ	7	日		7	水	理美容	7	土		7	月	運営会議 衛生委員会	7	木		7	土		7	火	セブイレブン	7	金	書道クラブ	7	土			
8	月	運営会議 衛生委員会	8	水	理美容	8	土		8	月	UL会議 給食会議	8	木		8	日		8	火		8	金		8	日		8	水	理美容 身体拘束廃止委員会	8	土		8	日			
9	火		9	木		9	日		9	火		9	金		9	月	UL会議 給食会議	9	水	理美容	9	土		9	月	UL会議 給食会議	9	木		9	日		9	月	UL会議 給食会議		
10	水	理美容	10	金		10	月	UL会議 給食会議	10	水	理美容	10	土		10	火		10	木		10	日		10	火		10	金	褥瘡予防委員会	10	月	UL会議 給食会議	10	火			
11	木		11	土		11	火		11	木		11	日		11	水	理美容	11	金	褥瘡予防委員会	11	月	UL会議 給食会議	11	水	理美容	11	土		11	火		11	水	理美容		
12	金	褥瘡予防委員会	12	日		12	水	理美容	12	金	褥瘡予防委員会	12	月	UL会議 給食会議	12	木		12	土		12	火		12	木		12	日		12	水	理美容	12	木			
13	土		13	月	UL会議 給食会議	13	木		13	土		13	火		13	金		13	日		13	水	理美容	13	金		13	月	UL会議 給食会議	13	木		13	金			
14	日		14	火		14	金		14	日		14	水		14	土		14	月	UL会議 給食会議	14	木		14	土		14	火		14	金		14	土			
15	月	UL会議 給食会議	15	水	常務会	15	土		15	月		15	木	排泄委員会	15	日		15	火	セブイレブン リスク管理委員会	15	金	書道クラブ	15	日		15	水	常務会	15	土		15	日			
16	火	セブイレブン リスク管理委員会	16	木	排泄委員会	16	日		16	火	セブイレブン リスク管理委員会	16	金	書道クラブ	16	月		16	水	常務会	16	土		16	月		16	木	排泄委員会	16	日		16	月			
17	水	常務会	17	金	書道クラブ 決算理事会	17	月		17	水	常務会	17	土		17	火	セブイレブン リスク管理委員会	17	木	排泄委員会	17	日		17	火	セブイレブン リスク管理委員会	17	金	書道クラブ	17	月	食中毒・感染症委 員会	17	火	セブイレブン リスク管理委員会		
18	木	排泄委員会	18	土		18	火	セブイレブン リスク管理委員会	18	木	排泄委員会	18	日		18	水	常務会	18	金	書道クラブ	18	月	食中毒・感染症委 員会	18	水	常務会	18	土		18	火	セブイレブン リスク管理委員会	18	水	常務会		
19	金	書道クラブ	19	日		19	水	常務会	19	金	書道クラブ	19	月	食中毒・感染症委 員会	19	木	排泄委員会	19	土		19	火	セブイレブン リスク管理委員会	19	木	排泄委員会	19	日		19	水	常務会	19	木	排泄委員会		
20	土		20	月	食中毒・感染症委 員会	20	木	排泄委員会	20	土		20	火	セブイレブン リスク管理委員会	20	金	書道クラブ	20	日		20	水	常務会	20	金	書道クラブ	20	月	防災委員会	20	木	排泄委員会	20	金	書道クラブ		
21	日		21	火	セブイレブン リスク管理委員会	21	金	書道クラブ	21	日		21	水	理美容 常務会	21	土		21	月	防災委員会	21	木	排泄委員会	21	土		21	火	セブイレブン リスク管理委員会	21	金	書道クラブ	21	土	予算理事会		
22	月	防災委員会	22	水	理美容	22	土		22	月	防災委員会	22	木		22	日		22	火		22	金	入所検討委員会	22	日		22	水	理美容	22	土		22	日			
23	火		23	木	入所検討委員会	23	日		23	火	苦情検討委員会	23	金		23	月		23	水	理美容	23	土		23	月		23	木		23	日		23	月			
24	水	理美容	24	金		24	月	内部研修	24	水	理美容	24	土		24	火		24	木		24	日		24	火		24	金		24	月	内部研修	24	火	苦情検討委員会		
25	木	救急救命講習会	25	土		25	火		25	木		25	日		25	水	理美容	25	金	看護会議	25	月	内部研修	25	水	理美容	25	土		25	火		25	水	理美容		
26	金	看護会議	26	日		26	水	理美容	26	金	看護会議	26	月	内部研修	26	木		26	土		26	火		26	木		26	日		26	水	理美容	26	木			
27	土		27	月	内部研修	27	木		27	土		27	火		27	金	看護会議	27	日		27	水	理美容	27	金	大掃除 看護会議	27	月	内部研修	27	木		27	金	看護会議		
28	日		28	火	職員互助会総会	28	金	看護会議	28	日		28	水		28	土		28	月	内部研修	28	木		28	土		28	火		28	金	看護会議	28	土	予算評議会		
29	月		29	水		29	土		29	月	内部研修	29	木		29	日		29	火		29	金	看護会議	29	日		29	水		29	土		29	日			
30	火		30	木		30	日		30	火		30	金	看護会議	30	月	内部研修	30	水		30	土		30	月	内部研修	30	木					30	月	内部研修		
			31	金	看護会議				31	水		31	土					31	木							31	火		31	金	看護会議				31	火	
			防災訓練・害虫駆除			エアコンフィルター清掃			長谷川式調査 ワリストラップ清掃・貯水槽清掃			防災訓練(夜) 合同法要・水質検査			夜勤者検診 秋祭り			防災訓練(総合) 害虫駆除・入居者健診			大掃除・餅つき エアコンフィルター清掃			ワリストラップ清掃			防災訓練(風水害)			健康診断(職員)							
西14区自治会			小石・赤坂地区 歩きing						西14区夏祭り・草刈り			小石・赤坂地区敬老会			小石・赤坂地区運動会												西14区餅つき										

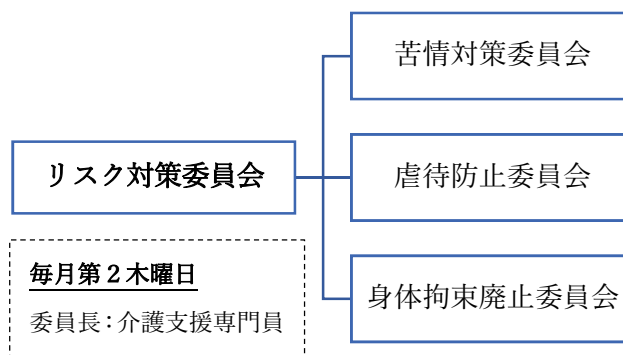
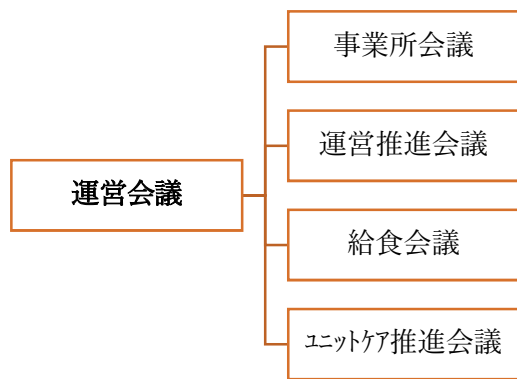
特別養護老人ホームあやめ苑 年間業務計画（部門別）～理念の実現に向けて～

私たちの理念	利用者の自律した暮らしを支援します	知・情・意を兼ね備えた人材を育成し、共助の姿勢をもって高品質のサービスを提供します	健全経営を行い地域福祉の拠点を目指します
業務指針	私たちはご入居者の為でなく、ご入居者の立場に立った介護を実践します。 ・ 接遇レベルの向上を目指し定期的にあやめ苑が実行しているサービス内容を評価するシステムを構築し実行していきます。 ・ ご入居者の日々のお世話が目的になることなく、自己実現に基いた介護の実践を目指します。	私たちは各職員の「当たり前」のレベルを引き上げ、スキルアップ研修を積極的に行います。 ・ 内外研修や外部講師等を招き、各職員のレベルアップを図ります。 ・ 組織再編成を行い、職員が活き活きと働ける風通しの良い職場を目指します。	私たちは健全経営を確立させ、地域交流に参加・援助を行います。 ・ 上半期までに 100 床稼働可能な職員確保を目指し安定的な経営に立ち直れるよう、経費削減も含め全力で取り組みます。 ・ 地域交流を深め、西 14 区の地域活動に積極的に参加します。
介護部門	・ 最後までお一人ずつ、その方らしさを支えるケアづくり ・ 入居～お看取りまでを見据えたケアの考え方 ・ 思考力(考える力)、観察力(気づく力)、行動力(形にしていく)の育成、指導の強化 ネットワークづくり	知:福祉における専門知識とその自覚 情:ホスピタリティの理解と実践 意:ワークライフバランスなどモチベーション維持への働きかけ 総体力向上 役職として求められるマクロな視野と思考の実践	職業倫理に基づいた育成での人間力向上による質の良いものの定着と環境整備を図る⇔稼働率維持へ反映 ・ 動きに向けたサポートとパイプ役をしっかりと果たす ・ 会議、委員会の活用へスーパーバイズの強化・見える化
看護部門	ご入居者が安心して生活ができるよう関係機関や嘱託医、ご家族と連携を図ります。	介護職員に対し、基本的な医療知識を養う目的として定期的な医療研修を実施します。スタッフ全員のスキル工場職を目指し積極的に研修へ参加します。	職員、ご入居者に対し異常の早期発見、早期対応に努めます。協力病院、医療機関との連携を図り円滑な相互関係を築きます
相談部門	入退去支援、入居者様や家族や他機関との連携、苦情相談、身体拘束関係等適切な立ち回りができるよう基本を再度見直します。 他職種への情報提供と共有化、コーディネートを行います。	課業について再度見直し、適切なソーシャルワークの実現を目指します。 他部署との連携を強め、情報の共有化を目指します。	半年ごとの入居計画立てることでスムーズに入居を進め、稼働率の安定を図ります。 地域行事への積極的な参加を行い、地域福祉の発展に寄与します。
栄養部門	入居者様一人ひとりの咀嚼・嚥下機能を考慮した食携帯で提供する(ゼリー食、ミキサー食の均一化) 入居者一人ひとりの健康面や栄養状態に留意した栄養ケアマネジメントを行う(各部署との連携、報告、相談) バリエーションに富んだ献立を作成し、季節を感じてもらえる食事を提供する。(行事食の企画・実施、手作りおやつ)	調理場・厨房内の衛生管理を徹底し、入居者様に安全・安心な食事を提供する。(蛇口取替) 調理場・厨房内の安全管理を徹底し、火災等の事故を未然に防ぐ(ガスホース、コンロ周りの点検・メンテナンス) 衛生管理規定に基づき、調理作業従事者に衛生管理をする(外部研修への参加、フィードバック)	電化製品や空調設備などのこまめな節電に努める(こまめな節電に努める。 (使用していないスペースの消灯、空調・電化製品などのオフ) 食材費などの見直し、削減(定期的に見積もりを取り、取引業者を選定する)
事務部門	入居者様と積極的にコミュニケーションをとり、他部署との連携を図ります。	責任感をもって一つひとつの仕事に取組み、業務のレベルアップを目指します。周りに気を配り、直ぐに行動します。	施設収支を意識し、健全経営を側面から支援します。施設に往来される地域住民の方に対し積極的な声かけを心がけます。

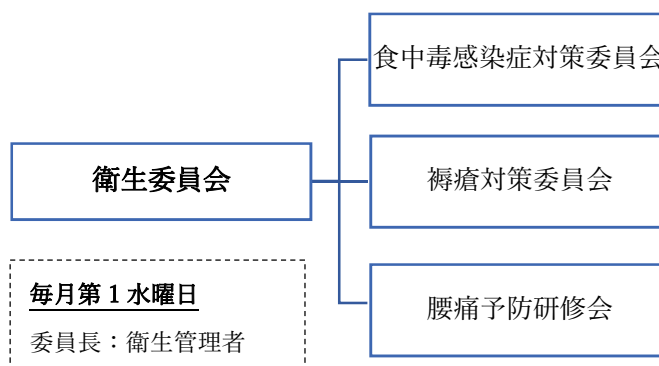
特別養護老人ホームあやめ苑 年間業務計画（ユニット別）～理念の実現に向けて～

私たちの理念	利用者の自律した暮らしを支援します	知・情・意を兼ね備えた人材を育成し、共助の姿勢をもって高品質のサービスを提供します	健全経営を行い地域福祉の拠点を目指します
桜桃	・ご入居者自立支援へのケアづくりにおける考え方とチームでの意識づけを図る ・協力体制の強化と24時間シートの基本理解と活用	・人材育成をチーム総体的に行っていける環境整備 ・チーム間の進捗など情報共有の方法を見直し確実なフィードバックと改善へのスピード化	・コストパフォーマンスの見直しと維持改善を図る ・業務の見直しと全員遵守へのチーム整備 積極的な提案制とその活用
櫻	・24時間シートの作成 ・ご入居者の生活パターンを把握し沿ったシフト等を調整 ・ご希望に沿った暮らしのサポート	定期的な研修・勉強会の実施でのスキルアップ研修等、ツールの活用でマナー等を学習する「共助」の理解とご入居者・職員共に支え合う職場づくり	・勤怠の見直 ・コンプライアンスの徹底 ・チームで支え合い離職率の低下を目指します。
紅葉・楓	・ご入居者ごとの暮らしやすさを見つめた整え方を形づくる ・過去の生活歴など情報をもとに全員での発信と暮らしを一緒に作っていく考え方と方法論を構築する	・介護技術・知識と接遇の向上を目指す ・認知症高齢者への深い理解と実践 技術向上へチームでの学習、外部研修への積極的参加と現場での活用	・地域への関わりへ積極的に取り組む ・季節行事への相互参加を積極的に行い、街づくりへの貢献と事業所の意義向上を目指す
銀杏	・個別対応の充実(企画立案・実践の推奨) ・ご入居者との信頼関係づくり(ケアスタッフとを中心に) ・ご入居者ごとのニーズを知り「個」を意識した生活支援 ・外出レクの充実で社会参加の意識を持って頂ける支援	・改善提案の実践強化 ・ユニット会議での発信提案の機会が充実していくように会議運営を全員で取り組み形づくりに反映していく	・早期発見と対処でご入居者の安全な生活確保を図る ・時間外の低減を目指す ・事故・状態悪化からの入院減少を図り安定稼働を目指す ・体調管理などの徹底で時間外などコストの削減での従事
杏	・ご入居者ごとニーズに拘ったケアづくり ・ご入居者の意思尊重 他職種との協働でその実現を図る ・24時間シート作成とその活用でチームケアの充実を図る	・人間力を身に付けていく ・専門職としてご入居者へしっかりと寄り添い、まずは受容・共感・傾聴がしっかりと行える人間力を身に付ける	・ご入居者の安心・安全最優先へ向けての生活支援と内容の充実を図る ・安心安全な生活支援の提供を行っていく中でコストバランスを意識し、人員配置や時間の工夫などでの効率化を図る
若葉・翠	・ご入居者が安心して暮らしていただける生活支援の実現 ・ユニットケアの理解と24時間シートの活用 ・お誕生日など個別のレクの充実と日々の楽しみづくり	・ご入居者個別への深い理解とユニットケアの考え方への理解と活用 積極的な研修参加 ・内外の研修参加とユニットの相互協力により対応力の向上 ・チーム内で定期的な介護技術などの評価確認を行う	・残業ゼロを目指す ・地域交流への積極的参加 ・チームの見渡しと日常管理で無駄コストの削減を図る ・勤務変更など減少に努め相互協力が図れる環境づくり
大空	・ご入居者の心身機能維持を図りながら、ご自分らしさに拘った暮らしが行える支援を目指す ・残存機能の見極め 過介護の防止で維持を図り QOL維持に努めていける様ご入居者のニーズをしっかりと汲み取るケアを目指す	・個々のスキルアップとチームケアの向上を目指す ・技術向上と仕事への取組み姿勢・判断力を身に付ける(研修参加の推奨と反映、全員での取り組みとチームづくり)	・必要経費とコスト削減の意味を理解する ・内容の伴わない残業の削減 ・必要経費とコストの意味を明確に理解し適正なコスト削減職員間の話し易い職場環境づくり
葵	・ご入居者が選択肢を持って暮らせる為の支援づくり ・24時間シートの更新とケアの見直し ・ケアにおける受容と傾聴の在り方と実践	・ユニット職員全員の技術向上を図る ・情報共有の強化とその理解を確実に行的っていく 技術向上の為の研修参加の推奨と現場への反映	・ご入居者・ご家族ともに安心していただけるケアの提供 ・ご家族さまへの日常的なコミュニケーションとはたらきかけで対応の迅速化とその報告をしっかりと図っていく

ベイスайдわかまつ (会議・委員会活動)



入所検討委員会	(委員長:生活相談員)
防災委員会	(委員長：防火管理者)
介護技術研修会	(担当：介護主任)
夏祭りプロジェクト	(委員長：選任者)
餅つきプロジェクト	(委員長：選任者)



ベイサイドわかまつ (年間業務計画)

H31年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 月	入職式	1 水 運営会議	1 土 決算評議会	1 月 歌の教室	1 木 運営会議	1 日	1 火 運営会議	1 金 運営会議	1 日	1 水 新年会	1 土 運営会議	1 日
2 火	運営会議	2 木 接遇研修	2 日	2 火 運営会議	2 金 体操クラブ	2 月 歌の教室	2 水 感染・食中毒 予防委員会	2 土	2 月 歌の教室	2 木	2 日	2 月 歌の教室
3 水	感染・食中毒 予防委員会	3 金 体操クラブ	3 月 歌の教室	3 水 感染・食中毒 予防委員会	3 土	3 火 運営会議	3 木	3 日	3 火 運営会議	3 金 運営会議	3 月 歌の教室	3 火 運営会議
4 木		4 土	4 火 運営会議	4 木	4 日	4 水 感染・食中毒 予防委員会	4 金 体操クラブ	4 月 歌の教室	4 水 感染・食中毒 予防委員会	4 土	4 火	4 水 感染・食中毒 予防委員会
5 金	体操クラブ	5 日	5 水 感染・食中毒 予防委員会	5 金 体操クラブ	5 月 歌の教室	5 木	5 土	5 火 体操クラブ	5 木	5 日	5 水 感染・食中毒 予防委員会	5 木 体操クラブ
6 土		6 月 歌の教室	6 木	6 土	6 火	6 金 体操クラブ	6 日	6 水 感染・食中毒 予防委員会	6 金 体操クラブ	6 月 歌の教室	6 木	6 金 体操クラブ
7 日		7 火	7 金 体操クラブ	7 日 流しそうめん 大会	7 水 感染・食中毒 予防委員会	7 土	7 月 歌の教室	7 木	7 土	7 火 体操クラブ	7 金 体操クラブ	7 土
8 月 歌の教室	8 水 感染・食中毒 予防委員会	8 土	8 日	8 月	8 木	8 日	8 火	8 金 リスク対策委員会	8 日	8 水 感染・食中毒 予防委員会	8 土	8 日
9 火		9 木	9 日	9 火	9 金 リスク対策委員会	9 月	9 水	9 土	9 月	9 木 身体拘束 防止委員会	9 日	9 月
10 水		10 金 リスク対策委員会	10 月	10 水	10 土	10 火	10 木 身体拘束 防止委員会	10 日	10 火	10 金 リスク対策委員会	10 月	10 火
11 木 身体拘束 防止委員会	11 土	11 火	11 水	11 木 身体拘束 防止委員会	11 日	11 水	11 金 リスク対策委員会	11 月	11 水	11 土	11 火	11 水
12 金 リスク対策委員会	12 日	12 水	12 金 リスク対策委員会	12 月	12 木	12 土	12 火	12 水	12 木	12 日	12 水	12 木
13 土	13 月	13 木	13 土	13 火	13 金 リスク対策委員会	13 日	13 水	13 金 リスク対策委員会	13 月	13 木	13 金 リスク対策委員会	13 土
14 日	14 火 リスクマネジ メント委員会	14 金 リスク対策委員会	14 日	14 水	14 土 敬老会	14 月	14 木	14 土	14 火	14 金 リスク対策委員会	14 土	14 金 リスク対策委員会
15 月 給食会議	15 水 常務会	15 土	15 月 給食会議	15 木	15 日	15 火 防災避難訓練	15 金 いきいき体操	15 日	15 水 常務会	15 土	15 日	15 月 給食会議
16 火	16 木	16 日	16 火	16 金 いきいき体操	16 月 給食会議	16 水 常務会	16 土	16 月 給食会議	16 木	16 日	16 月 給食会議	16 火
17 水 常務会	17 金 いきいき体操 決算理事会	17 月 給食会議	17 水 常務会	17 土	17 火	17 木	17 日	17 火	17 金 いきいき体操	17 月 給食会議	17 火	17 水 常務会
18 木	18 土	18 火	18 木	18 日	18 水 常務会	18 金 いきいき体操	18 月 給食会議	18 水 常務会	18 土	18 火	18 水 常務会	18 木 常務会
19 金 いきいき体操	19 日	19 水 常務会	19 金 いきいき体操	19 月 給食会議	19 木	19 土	19 火	19 木	19 日	19 水 常務会	19 木	19 水 常務会
20 土	20 月 給食会議	20 木	20 土 夏祭り	20 火	20 金 いきいき体操	20 日	20 水 常務会	20 金 いきいき体操	20 月 給食会議	20 木	20 金 いきいき体操	20 木 給食会議
21 日	21 火	21 金 いきいき体操	21 日 //	21 水 常務会	21 土	21 月 給食会議	21 木	21 土 クリスマス会	21 火	21 金 いきいき体操	21 土 予算理事会	21 金 いきいき体操
22 月	22 水 夜間想定避難 訓練	22 土	22 月	22 木	22 日	22 火	22 金 サービス向上委員会	22 日	22 水	22 土	22 日	22 月 給食会議
23 火	23 木	23 日	23 火	23 金 サービス向上委員会	23 月	23 水 夜勤者 健康診断	23 土	23 月 認知症研修	23 木	23 日 地域交流会	23 月	23 火 運営会議
24 水 救急救命研修	24 金 サービス向上委員会	24 月	24 水	24 土	24 火	24 木 //	24 日	24 火	24 金 サービス向上委員会	24 月	24 火	24 水 常務会
25 木	25 土 書道クラブ	25 火	25 木 運営推進会議	25 日 地域交流会	25 水 運営推進会議	25 金 サービス向上委員会	25 月	25 水	25 土 書道クラブ	25 火	25 水 職員健康診断	25 木 常務会
26 金 サービス向上委員会	26 日	26 水	26 金 サービス向上委員会	26 月	26 木	26 土 書道クラブ	26 火	26 木 大掃除	26 日	26 水	26 木 //	26 金 サービス向上委員会
27 土 書道クラブ	27 月	27 木 認知症研修	27 土 書道クラブ	27 火	27 金 サービス向上委員会	27 日 地域交流会	27 水 運営推進会議	27 金 サービス向上委員会	27 月	27 木 認知症研修	27 金 サービス向上委員会	27 土 予算評議会 書道クラブ
28 日 地域交流会	28 火 運営推進会議	28 金 サービス向上委員会	28 日	28 水	28 土 書道クラブ	28 月	28 木	28 土 書道クラブ	28 火	28 金 サービス向上委員会	28 土 予算評議会 書道クラブ	28 月 給食会議
29 月 認知症研修	29 水	29 土 書道クラブ	29 月	29 木	29 日	29 火 認知症研修	29 金	29 日 地域交流会	29 水 運営推進会議	29 土 書道クラブ	29 日	29 月 給食会議
30 火	30 木	30 日 地域交流会	30 火	30 金 認知症研修	30 月	30 水	30 土 書道クラブ	30 月	30 木		30 月 運営推進会議	30 火 運営会議
		31 金		31 水	31 土 書道クラブ		31 木		31 火	31 金		31 火 運営会議
	新人研修 消防機器点検		厨房害虫駆除 厨房機器点検				受水槽清掃 消防機器点検		厨房害虫駆除 厨房機器点検		簡易水道検査	

※ 各事業所会議、栄養ケアマネジメント・ケアプランカンファレンス → 毎月随時開催

※ 電気保守点検・EV点検 → 毎月随時実施

ベイスайдわかまつ 年間業務計画（部門別）～理念の実現に向けて～

私たちの理念	利用者の自律した暮らしを支援します	知・情・意を兼ね備えた人材を育成し、共助の姿勢をもって高品質のサービスを提供します	健全経営を行い地域福祉の拠点を目指します
業務指針	・利用者様お一人おひとりのこれまでの生活・歴史を大切にし、住み慣れた土地で安心し、穏やかな生活が送れるようサポートします。 ・地域密着型の施設として、地域との関係性を重視し、利用者様が地域社会の一員として参加できる機会を多く持つようにします。（地域の行事等へ積極的に参加します。） ・利用者様との関係を大切に「気づき」「心配り」「寄り添う気持ち」を常に持ち個別ケアの実践を目指します。	・「福祉」の仕事に、やりがいと誇りを持てるよう、職場環境を整備し、人材育成に取り組み、職員がより長く定着するよう努めます。 ・良質で安心できるサービスを提供するために、職員一人ひとりが意識を高く持ち、常に自己啓発に励みます。 ・職員のキャリアアップのため、各種研修に積極的に参加してもらうとともに、資格取得時には組織全体でバックアップします。	・より安定した財務基盤、正確な財務管理、会計処理を行います。 ・運営については、組織内の責任と裁量権の範疇を明確にし、コンプライアンスを順守します。 ・地域福祉の拠点として、地域との関わりを密にするとともに、地域高齢者のお困りごとを気軽に相談できるような社会資源としての役割を果たします。
看護部門	・ご家族との関わりを大切にしより信頼関係を深めます。そのうえで、連携・情報の共有に努め、日常の生活支援、身体的ケアを行います。 ・ご利用者様には、笑顔・真心でやさしく寄り添い、健康状態の把握を行い、安定した体調維持に努めます。 ・常に、利用者様に注意し、日常の小さな変化も見逃がさないよう細心のケアを行います。	・施設内・外部の研修に積極的に参加し、知識・技術の向上を図り、質の高い看護業務を提供出来るよう努めます。 ・専門知識、経験を活かし、多職種との連携を重要視し、介護職員のスキルアップにも努めます。	・ご家族、施設内多職種との情報交換を密にし、ご利用者様の变化や異常を早期発見、適切な処置および対応に努めます。 ・医療機関と連携し、情報の共有を行いご利用者様の健康維持に努めます。
栄養部門	・食事を通して、「生活に楽しみ」を持っていただくとともに利用者一人ひとりの ADL が向上するようにサポートしていきます。 ・行事食など季節感、日本の伝統的な食文化を取り入れたメニュー提供を行い、「食」を楽しめる工夫を凝らします。 ・定期的にアンケートを行い、ご利用者様のご意見やご希望に沿ったメニューの作成、食材の選択を行います。	・専門的知識、経験を活かし、スタッフそれぞれが、その根拠を基にサービス提供に取り組みます。 ・毎月の「給食会議」を通じ、利用者様、職員の意見を参考に食材、メニューなどがマンネリ化することなく常に進歩するよう努めます。 ・衛生管理には十分注意し、安全・安心な「食」を提供する！という意識を全職員で共有します。	・地産地消を中心に季節感のある豊富なメニュー、食材を使用し、食事の提供を行います。 ・職員一人ひとりが、食品ロス、光熱費、消耗品等の無駄をなくす！という意識の下、経費削減に取り組みます。 ・地域の行事「そうめん流し」「敬老会」「餅つき大会」等々積極的に参加し地域との交流を図ります。
事務部門	・ご利用者・入居者様、ご家族様への挨拶や対応、案内などを丁寧かつ積極的に行い、接遇・マナーの向上を図ります。 ・ご利用者、ご家族、来設者に季節感を感じて頂けるよう、エントランス、地域交流スペースの設えを工夫します。	・法人内、他施設（花乃路、あやめ苑、花乃路保育園）と連携を図り、情報を共有し、ご利用者様ニーズに迅速に対応します。 ・各事業所間、理事長への報告・連絡・相談を確実にを行い利用者様が安心して生活できるよう体制を整えます。 ・各職種職員が円滑に業務出来るよう、バックヤードとしての役割を果たします。	・各種加算を含む介護報酬（各事業所別に）を正確に把握し、対象となる確認資料を月末までに作成、保管します。 ・請求業務は、払戻や過誤、漏れの無いよう細心の注意を払います。 ・施設内に何か問題が生じた場合、スピーディに対応し、改善が必要な時は速やかに行います。また、必要に応じて第三者機関等への連絡も正確に行います。

ベイサイドわかまつ 年間業務計画（事業所別）～理念の実現に向けて～

私たちの理念	利用者の自律した暮らしを支援します	知・情・意を兼ね備えた人材を育成し、共助の姿勢をもって高品質のサービスを提供します	健全経営を行い地域福祉の拠点を目指します
高齢者グループホーム	- これまでの生活の歴史を尊重し、入居後の生活が連続したものとなるよう、一人ひとりの個性や生活リズムに沿った暮らしを支援していきます。 - 常に想像力を働かせ、表現されないニーズを汲み取るとともに、入居者様の意思に沿った生活の支援ができるよう関係性を深め、職員間の綿密な情報交換を行い、ケアプランに反映させます。 - ご自身の意思で決める「自律」と、残存機能を活性化して、出来ることをより長く続けて頂く「自立」の両面から暮らしを支援をしていきます。	- 職員一人ひとりが「自分にとって大切な人と向き合うように入居者様と向かい合い、相互に情報・意見交換を行いケアの質を高めます。常に「入居者様のために」という同じ目線を持ったチームとして一丸となりケアに取り組みます。 - 組織内外の研修に積極的に参加して、自己研鑽に励み職員同士が連携し、日々成長できる環境を整えます。レベルの高い職員の定着こそが、質の高いサービス提供に繋がると考えます。	- 運営推進会議にて、提供しているサービス内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスにします。 - 社会資源であるグループホームの使命を自覚し、常時 18 名満床での運営を責務と考えます。介護保険料を収入源とする自覚を持ち、コストパフォーマンスの高い運営を行います。 - 地域との相互交流を通して地元の住民と一緒に発展する方策を行っていきます。 - 入居者様の地域への参加できる機会をより多く作ります。
小規模多機能ホーム	- 利用者様が、可能な限り自立した日常生活を送ることが出来るように「通い」を中心とし、短期間の「宿泊」や「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境、サービス提供に努めます。 - 利用者様のその日の状況に応じて、サービスの変更等を含め、柔軟に対応し、ニーズに答えます。	- 利用者様それぞれの情報を共有し、職員全員で、より高いサービスを目指します。 - 職員間は丁寧な言葉づかいでコミュニケーションを深め、それぞれの知識、技術、情報を共有しながら、よりレベルの高い統一したケアに取り組みます。 - 施設内研修や外部研修に積極的に参加し、職員のスキルアップに努めます。	- 二月に一回以上、運営推進会議を行い、提供しているサービス内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスにします。 - 地域の一員として行事等へ参加する機会を多く作り、新たな輪が広がる場所の提供を行います。 - 全職員で高いコスト意識を持ちチームでコストカットに取り組みます。
有料老人ホーム	- 利用者様お一人おひとりのこれまでの生活・習慣・歴史を大切にし、住み慣れた土地で「生きている喜び」をともに感じ、「希望」あふれる生活が送れるようサポートします。 - 定期的(2ヶ月に1度程度)に会議「入居者様の意見交換会」を開催し、入居者様の意見を吸い上げ、改善すべき点が見つかった場合は速やかに改善します。	- 入居者様が快適に且つ安心して生活出来るよう常に「知恵」を絞ります。決してルーチンワークはしません。 - 入居者様の本当のニーズにこたえるべく、自己啓発に努め、「気づき」の基準を高めます。 - 入居者様が出来ることはやって頂き、出来ないことを職員、施設全体でフォローします。	- 提供しているサービス内容などを明らかにし透明性を確保します。 - 利用者様も地域住民のお一人と考え、地域交流への参加機会を多く持ちます。 - 施設を開放し(地域交流スペース)、子供からお年寄りの方まで気軽に立ち寄ることが出来るようイベント開催等の充実を図ります。
デイサービス	- 利用者様が可能な限り住み慣れた家で生活出来るよう支援し、日々、充実した実りある生活になるよう、お一人おひとりに寄り添った「個別ケア」を実践します。 - 歯科医院・歯科衛生士と連携し口腔ケアの向上、口腔リハビリの充実を図り肺炎(誤嚥性)の予防に努めます。 - ケア会議(月一度)を開催し、ご利用者様の状態やケアの改善点等を全職員で共有し、より良いサービス提供に繋がります。	- ご利用者様との信頼関係を大切に、細かい状態の変化に気づき、目に見えない本当のニーズをくみ取ることで出来るようにします。 - 職員は、各自、目標を立て施設内外の勉強会をはじめ、施設外の研修等にも積極的に参加しスキルアップに努めます。 - 職員同士が協力し、同じ方向性を持ち、チームワークでケアを行います。	- ご利用者様、そのご家族にサービス内容を丁寧に説明、かつ明らかにし事業内容の透明性を最優先します。 - 行政や医療機関及び各福祉事業所と連携を図り利用者様にとって最善なサービスを提供できるよう努めます。 - 定期的に運営推進会議を開催し、提供しているサービス等の報告、精査を行い、意見を吸い上げ運営に反映させます。 - 地域密着型施設として、地域の方がたとの交流、あるいは地域行事に積極的に参加する機会を多く作ります

花乃路保育園 (中・長期計画)

基本方針

子どもの生活リズムを大切にし、健康・安全で、情緒の安定した生活ができる環境や自己を十分に発揮できる環境を整える。

- (1) 養護と教育を一体的に行い、豊かな人間性を持った子どもを育成する。
- (2) 老人施設との連携を密にして、保護者の協力のもとに、思いやりや感謝の気持ちを育て、生き生きとした地域づくりをめざす。
- (3) 地域における子育て支援のために、乳幼児などの保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。

保育目標

ゆとりのある充実した経験や活動の中で心身共に調和のとれた乳幼児の育成に努める。

- (ア) 正しい生活習慣を確立する。
- (イ) 豊かな心を育む。
- (ウ) たくましい体をつくる。
- (エ) 何事にも意欲を持って、自分で考え行動する。
- (オ) 友達やお年寄りを大切にし、思いやりの心、優しい心を育てる。





課題

施設面	・豊かな心を育み、安心して過ごせる保育環境の充実を図る。
人材育成	・キャリアアップにおける階層別研修に参加し、専門職として質の高い保育を実践していく。
安全管理	・安全管理に関して、様々なマニュアルの作成と実践力の強化を図る。 (災害発生時の対応体制及び避難への備え)
地域との関わり	・地域における子育て家庭との交流や情報提供及び地域の関係機関との連携。



花乃路保育園 （平成31年度にむけて行動指針と具体的内容）

理念	行動指針	具体的内容(各クラス)
利用者の自律した暮らしを支援します。	・子どもの発達に応じた環境を整えることで子どもの主体性と人権を尊重し、保育園が子ども中心で最も幸せな場であることを、大切にします。	① 保育の目標を達成するため「全体的な計画」をもとに、「年間指導計画」にそって一人ひとりの発達が保障されているか、PDCA サイクルで繰り返し見直します。 ② 菜園活動や食育活動を通して食に興味・関心をもち、自然の恵み、感謝の気持ちが育まれるよう環境を整えます。
知・情・意を兼ね備えた人材を育成し 共助の姿勢をもって、高品質のサービスを提供します。	・選ばれる保育園づくりをめざし、保育の質や人間性を高めていきます。 ・保育園内外研修に積極的に参加し、必要な知識及び技術の習得等保育の質を高める努力をします。 ・保護者に対しては、保育に関する情報提供と共に子育ての喜びを味わえることが出来るように側面的に支援します。	① 環境を通して養護と教育の一体的な保育を実践するため、積極的な園内研修を行います。 ② 保護者参加の主要行事では必ずアンケートをお願いし保護者の思いを受け止めながら、保育を構築していきます。 ③ 定期的な保育体験や保育参観、行事を通じて我が子の発達を把握する機会をつくり、乳幼児に大切な親子の触れ合いとして、わらべうたや絵本の紹介を行います。
健全経営を行い 地域福祉の拠点を目指します。	・経費節減に努め、無駄のない運営を行います。 ・さまざまな人々と発達過程（0歳児～5歳児）に応じたふれあいを通して、相乗効果がもたらされ地域の社会福祉の拠点となるように努力します。	① 保育の質を向上させるために必要な経費予算を把握し、節減できることは工夫します。 ② 特養「花乃路」やデイサービスの高齢者、地域の子育て支援、小学校との交流、小・中・高の職場体験、JICA国際交流など積極的に取り入れます。

花乃路保育園 (取組内容)

		29 年度	30 年度	31 年度
施設面	現状の把握	・H30 年改訂の新指針施行の周知期間として、新・旧指針内容の確認と改訂の把握をする。 ・第三者再評価の結果を踏まえ、各クラス障害児保育について年間・月間指導計画に記述する。	・新指針改訂にともない「生涯の学びの芽生えの時期」養護と教育が一体化した保育の中で子どもからの欲求を受け止めより良い保育士等の働きかけを行う。 ・園内外の物的環境を中心に安全管理等不十分などころはないか全職員でチェックする。	・子ども育ちの視点を意識し、思考力・判断力・表現力・学びに向かう力・人間性などの基礎が培われているかを実践し、振り返る。 ・「人権保育」の充実を図るため、28 年度より取り組んでいる保育と人権のマニュアル化する内容を精査する。
	保育室の環境整備 (遊具、玩具の充実)	・一人ひとりの子どもの興味や関心がもてる園内外の遊びの環境を工夫する。 ・安心して過ごせる空間で遊びの継続・展開が出来る誘いかけを行う。	・発達過程を踏まえ、一人ひとりの子どもの興味や関心の姿を見のがさず遊具・玩具の充実を図る。 ・「人権を尊重する保育」がすべての保育環境で整備されているか見直しを行う。	→ 平成 30 年～継続 ・よりよい保育環境の提供を心がけ絵本からくり広げられるファンタジーの世界を中心に統一感を持って環境整備を見直す。
	施設の利用方法の把握	・芝生化の定着に伴い、遊びの幅を広げて、楽しめるように取り組む。 ・保育室側のデッキの使用方法を工夫する。	・朝夕の遊戯室の環境や使用時間等全職員が周知し、有効利用のための見直しを行う。 ・雨天時の登降園出入り口の見直しと靴箱側デッキの風雨防止施設環境を検討・計画を行う。	・9 年目を迎え、書類・備品等収納量の増加のため、大型倉庫設置の検討を行う。（収納方法の工夫・改善を含む） → 平成 30 年～継続
人材育成	研修計画の作成 スタッフ機能の効率化	・園内研修や園外研修の充実を図り、保育士等の専門性の向上に努める。 ・自己評価による職員の専門性の向上を図る。 ・組織の一員としての役割を明確にし、意識を高める。	・新指針改訂に伴い「保育計画」の見直しを行い、子どもの育ちを丁寧を受け止め組織的な取り組みを行う。 ・育成すべき資質である主体性、多様性、人間性協力的性、学びに向かう力を育むための実践を学び合う。	・「心の育ちを育む」エピソード記述研修を継続していき、一人一人の子どもに「安心と安らぎとよりどころ」を与えられる園の雰囲気づくりを高める。 ・クラスの生活や遊びのあり方を全職員で振り返り検討する為、園内での公開保育を行う。
安全管理	リスクの把握	・様々なリスクに対応できるよう安全面のマニュアル化を図る。 ・大規模災害時に備え、災害マニュアルの見直しを行い、防災訓練計画や防災設備などの確認をする。(2 歳以上児の防災ずきんの徹底) ・月別罹患状況をクラスごとにチェックし感染症予防に努める。	・施設、設備、遊具、玩具、用具、園庭などを点検し、安全性の確保や機能の保持などに努める。 ・地域を巻き込んだでの実地訓練等を行い、不備な点等の把握に努め、常にリスクに対して最善の方法を工夫する。 ・防災設備や日常の非常持ち出し品を年度ごとに点検をする。	→ 平成 30 年～継続
地域との関わり	地域の子育てニーズの把握	・子育て支援計画の作成(年間 4 回) ・若松区役所保健福祉課地域保健係との連携による情報誌「親子で出かけてみませんか」に子育て支援計画を掲載する。 ・見学者の親子や一時保育児の保護者との会話を通して子育てニーズの把握をする。	・子育て支援計画を見直し、地域の親子により寄り添える遊びの提供を考える。 ・小・中・高生の職場体験やボランティア体験・養成校の実習体験などを積極的に受け入れ将来に向けて地域の子育て力の向上につながる支援を果たしていく。	・青葉市民センターの行事「親子ふれあいあそび」の出前遊びを行う。 ・「四季の親子のふれあい」への参加を地域に掲示する場所の範囲を広げ、親子で参加できる機会を増やせるようにする。
	地域の行事や研修への参加による情報の収集	・特養「花乃路」との交流計画の作成をする。 ・特養「花乃路」の担当職員の方との連携を図る。 ・若松みなとまつりに参加する。 ・「若松あんしんネットワーク」主催の子育て支援の研修に参加し情報の収集を行う。	・特養「花乃路」・「デイサービス」と交流担当職員の方と連携をとりながら交流計画の見直し、今年度の交流計画を作成する。	→ 平成 30 年～継続 ・北九州市保育士会「出前育児講座」開催―若松支部担当―に参加する。 → 平成 29 年～継続

花乃路保育園 (年間業務予定)

H31	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月				
1	月	入園・進級式 職員会議	1	水		1	土	保育参観 職員会議	1	月	リーダー会議	1	木		1	日		1	火		1	土		1	日		
2	火		2	木		2	日		2	火		2	金		2	月	リーダー会議	2	水	体操教室	2	土		2	月	リーダー会議	
3	水		3	金		3	月	リーダー会議	3	水	お泊り保育	3	土		3	火		3	木		3	日		3	火	ひなまつり会 誕生会	
4	木		4	土		4	火		4	木	お泊り保育	4	日	百万夏まつり	4	水	体操教室	4	金		4	月		4	水	体操教室	
5	金		5	日		5	水	体操教室	5	金		5	月	リーダー会議	5	木	血倉で遊ぶ	5	土	運動会 職員会議	5	火	リーダー会議	5	木		
6	土		6	月		6	木		6	土	七夕まつり 交流会	6	火		6	金		6	日		6	水	体操教室	6	金		
7	日		7	火	リーダー会議	7	金	歯の指導教室	7	日		7	水		7	土		7	月	保護者懇談会	7	木		7	土		
8	月	リーダ会議	8	水	体操教室	8	土		8	月	プール開き	8	木		8	日		8	火	保護者懇談会	8	金		8	日		
9	火		9	木		9	日		9	火		9	金	プール納め	9	月		9	水	保護者懇談会	9	土	地域交流 わらべうた	9	月		
10	水	体操教室	10	金		10	月		10	水	体操教室	10	土		10	火		10	木	保護者懇談会	10	日		10	火		
11	木		11	土	親子遠足	11	火		11	木		11	日		11	水	体操教室	11	金	保護者懇談会	11	月		11	水	体操教室	
12	金		12	日		12	水	歯科検診	12	金		12	月		12	木	敬老特養訪問	12	土	芋掘り	12	火		12	木		
13	土		13	月		13	木	避難訓練	13	土		13	火		13	金		13	日		13	水		13	金		
14	日		14	火	園児内科検診	14	金	JICA 国際交流	14	日		14	水		14	土	保護者向け 調理体験	14	月		14	木		14	土		
15	月		15	水	常務会	15	土		15	月	誕生会	15	木		15	日		15	火	リーダー会議	15	金		15	日		
16	火		16	木	避難訓練	16	日		16	火		16	金		16	月		16	水	常務会 体操教室	16	土		16	月		
17	水	常務会	17	金		17	月	心肺蘇生法	17	水	常務会 体操教室	17	土	職員会議	17	火	小運動会	17	木		17	日		17	火		
18	木	避難訓練	18	土	職員会議	18	火		18	木	避難訓練	18	日		18	水	常務会 体操教室	18	金	避難訓練	18	月		18	水		
19	金		19	日		19	水	常務会 体操教室	19	金	青葉市民セン ター親子会	19	月		19	木		19	土		19	火	誕生会	19	木		
20	土		20	月	食育会議	20	木	人形劇 ドラさん	20	土	職員会議	20	火	避難訓練	20	金	避難訓練	20	日	若松区保育ま つり	20	水	常務会	20	金		
21	日		21	火	誕生会	21	金		21	日		21	水	常務会 体操教室	21	土	職員会議	21	月	食育会議	21	木	総合火災訓練	21	土		
22	月	食育会議	22	水	シルエット劇場	22	土		22	月	食育会議	22	木		22	日		22	火	誕生会	22	金	園内研修	22	日		
23	火		23	木		23	日		23	火		23	金	誕生会	23	月		23	水	体操教室	23	土	職員会議	23	月	食育会議	
24	水	体操教室	24	金	園内研修	24	月	食育会議	24	水	体操教室	24	土	新1年生同窓会	24	火	食育会議	24	木		24	日		24	火		
25	木	誕生会	25	土		25	火		25	木		25	日		25	水	体操教室	25	金	園内研修	25	月	食育会議	25	水		
26	金	園内研修	26	日		26	水	誕生会	26	金	ひまわり絵画 展出展	26	月	食育会議	26	木	誕生会	26	土		26	火		26	木		
27	土		27	月		27	木		27	土	地域交流	27	火		27	金	園内研修	27	日		27	水		27	金		
28	日		28	火		28	金	園内研修	28	日		28	水	体操教室	28	土		28	月	焼き芋 パーティー	28	木		28	土		
29	月		29	水	体操教室	29	土		29	月	園内研修	29	木		29	日		29	火	園児内科検診	29	金	中リハーサル	29	日		
30	火		30	木	ゴミの日活動	30	日		30	火		30	金	園内研修	30	月	中運動会	30	水	体操教室	30	土		30	月	修了式	
			31	金					31	水		31	土					31	木						31	火	
								消防機器点検															消防機器点検				

※保護者アセスメント

* 体操教室 . . . 4・5 歳児